

二ふしの木

上村和子

市議会レポート
NO.11
2002. 3.3

発行

おたたらしく、わたしらしく、このまちで...

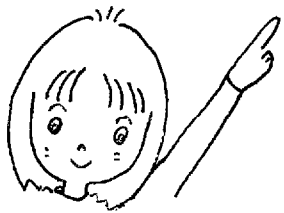
連絡先 186-0002 国立市東4-4-1-101 Tel.fax 042-580-2780

<http://homepage2.nifty.com/uemura-kazuko/index.html>



2002年度、一人ひとりの市民を大切にしたい議員活動をめざして

老後、職、平和に不安がつきまとう厳しい時代に入りました。
今年には私にとって議員活動4年目を迎え1期目最後の年となります。
'99年の選挙で私は以下のようなスローガンを掲げました。



- ・困った時こそ安心して住める街に
- ・私たちの声が今すぐとどく街に
- ・「子どもの権利条約」にもとづいたく私たちの教育を
- ・税金は、市民が今生きるために、今使おう
- ・戦争の道を絶対許さない、日本の戦争協力に反対

お約束を実行するために3年間孤軍奮闘してきたというのが実感です。

「本物の民主主義をくにたちで」の初心を忘れず、SOSの声を受けたら、すぐ行って、見て、聞いて、調べて、今年も発言し続けていきたいと思えます。

明和マンション問題 (2月26日、臨時議会)

地裁判決で、国立市に4億円の損害賠償支払い命令が出されました。控訴するか否かについて審議し、自民党退席で、私を含む全議員の賛成をもって控訴する事が決まりました。

私の質問を受けて、上原市長は「今後も違法建築物のスタンスで、争っていく。勝つまで闘う。」との決意を表明しました。

<私の考え>

4億円支払えという判決は大変重い。市長の失政という声も聞く。高いマンションは建つ、裁判には負けるでは、何で市民が4億円払わなければならないのかという、厳しい声も聞こえてくるおり、市長が本気で闘うのなら、理事職も含めての退職金を貰わない等の姿勢を市民に示すべきであり、更に裁判だけではなく、2002年度に行なう用途地域見直しでは、高さ制限の網かけをすとか、景観形成条例に景観権と高さ制限を盛り込む、あるいは特別行政庁である建築指導事務を都から移管する等具体的な政策を展開するべきです。今後市長を厳しくチェックしていきます。



12月の一般質問より

(1) 教科書採択時、石井教育長がつくる会教科書を評価したことについて

①これは事実か？

(教育長) 事実

②靖国問題と同様中国、韓国等アジア諸国の人々がこぞって反対していることについてどう認識しているか？また、国立には多くのアジアからの留学生がいるが、その人達に思いをはせなかったのか？

(教育長) 改善すべきところは改善すべき。

(上村)「扶桑社の教科書は歴史教科書そのものへの問題提起。自己の確立への哲学的な問題提起である。この自己というのは個人であり、民族であり、国家である」という石井教育長の考えは戦前と同じ自己＝国家の発想で問題。

(2) 11月6日、2小最終報告書の審議を終えるにあたって、教育委員会定例会時の石井教育長の発言について

石井教育長は「国立の市民というのは、様々な考えの市民がいらっしゃるわけですが、本当の意味での市民とはだれかということが問われて、これからもそのことはきちんと問われるべきだと思います」と発言しています。

教育長は、教育公務員特例法第2条で教育公務員である。このように市民を差別化・差別化してよいのか？

(教育長) 私だけが市民という市民は問題

(3) 二小最終報告書について

(上村) 子どもの発言を利用して、国立の全小・中学校の教育の管理化を図ったものである。今後、こういう事がないように、両論併記などの書式を整えるべき。また、付記にあるオンブズマン制度も弁護士を入れ、調査権を使えるようなものとして早急に検討すべき。

(4) 教育関係職員の採用について市教委の見解を問う

① 国立市は昨年の2月の指導主事増員から教頭の複数制、管理職候補職員の増員及び嘱託教員等人事体制を大きく変化させた。これは市教委が都教委に要請したのか？

② また、自治の視点で国立に必要なものについてノーとはいえないのか？

(教育次長) ノーと言うことはない。

(上村) 国立市のある小学校では、管理職候補が3人となったために、研修等で自習時間などが増えたり、体育専科が4名ともなった小学校もある。(不均衡を把握しているか) また、二小嘱託教員鷲野一之氏が「正論」紙上でPTA批判・議会批判をしているが、その職名をあげて書いていいのか？

(教育次長) 校長からの指導が必要かどうか、記事の内容を検討中

(5) 2001年度の4名の指導主事の研究委託について

Q: 1人1本(レポート)につき18万円支払っている(18万×4人 = 72万円)

問題点

① テーマが市教委で決められていない。(本人任せ)

③ 内容点検すると(何かの引用と思われる、2年連続同じ本から書いている等、雑で、問題多い)

④ 出来たものが具体的に生かされていない

⑤ 内容は全て指導主事の職務の範囲やめたらどうか？

(教育次長) 事務局及び教育長でテーマ決定

(市長) 教育問題解決のためには大変重要

(上村) 税金の二重払いにもつながる問題

(6) 障害のある子が普通学級で学べる体制づくりについて

①前回の質問で早川教育次長は、インクルージング(統合)の方向でいくという考え方を示した。具体的には就学にあたっては、何より本人とその保護者の意向が、最優先され保障されなければならないと考えるが、どうか？

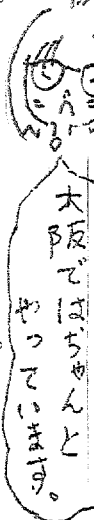
(教育次長) 最大限に最優先され、尊重される。

(7) 学校におけるセクハラへの対応について

①教員による子どもに対する性的言動(セクシュアルハラスメント)に対する国立市としての要綱整備、相談体制づくりはどうか？ 教員に向けては「セクシュアルハラスメントの防止のために」というパンフレットを配布したが、同じものを早急に作り、児童、生徒、各家庭に配布し知らせるべきと考えるがどうか？

(教育次長) 他は、具体的には検討していない。②現在、学校現場で具体的に起こっていないか？

(教育次長) 保護者から1件申し出がある。



右傾化する国立の教育改革を誰が歯止めする？

井上 スズ (上村和子と歩む会代表)

昨年10月で任期が切れる教育委員2名を上原市長は再任しなかった。この事は私が上原市長を推薦した条件の一つで期待通りであったと高く評価している。

ところで国立の教育は今どうなっているのだろうか。

3年前('99)の10月、上原市長は議会の同意を得て2名の教育委員を任命した。一人は安藤委員で文教都市国立の委員にふさわしく、市教委の声明を堅持し、国立の自由で平和な文教の灯火を消すまいと奮闘している様子が委員会の会議録からしっかり読み取れる。

もう一人は石井教育長。石井氏同意の議案に全議員が賛成したと知ったとき、私は「どうしてー」という疑問を持ち、「大丈夫だろうか」と一抹の不安を覚えた。

石井教育長就任の半年後、2000年3月、二小の卒業式が無事終わった後、子どもたちが校長に質問したやりとりを澤幡校長が報告書として市教委に提出した。このことが思わぬ事件に発展した。私の危惧は当たってはいけなかったのだ。石井教育長の報告書をめぐる対応のまずさが、今日の国立の教育の管理強化、右傾化という事態を生んでいると私は見る。

まずい対応(都教委・校長会等)の事例が数多くありすぎてここでは触れられないが、最近書かれたものとして / 『教育委員会に踏むにじられた街』蓮沼敏雄著(健友館)や / 『東京都の教育委員会』(批評社)の第四・五・六章及び / 世界2月号に野田正彰氏の文があり是非読んでほしい。

教育基本法の改定、修身の復活など戦前の教育に逆戻りしそうな現状を上原市長の与党議員、そして支える、“変えよう会”のみなさん、何故、黙って見過ごしているの？

「教育委員会に 踏・み・に・じ・ら・れ・続・け・る・街」



蓮沼さんは、去年の3月迄国立市立第二小学校の教員でした。彼はその年の卒業式で子どもたちに「君が代」を歌わせてしまったことが耐えられずに、教員をやめました。そして、本を出すことにしたのです。辞めてしまえば何でも言える。裏返せば、教員をしていたら何も言えない。今、国立の学校はそうなっているのです。管理職と言われる校長・教頭が全ての事を一方的に決めてしまう。子どもも教職員も保護者も、それに従順であることを求められます。多数と違う意見を出すとバッシングにあう。これでもか、これでもか、といわんばかりに、誹謗中傷が流されます。そしてその発信元は管理職だったりするのです。校長会はこれまで子どもや保護者の意志を尊重してきた卒業証書の年号表記まで一斉に「元号に統一」する事を決めてしまいました。フロア形式の卒業式を壇上にあげ、厳粛な儀式にするのだそうです。子どもたちの気持ちや目線は、大人の都合や利害によって無視されます。このしっぺ返しが、いつか必ず来ます。その時謝っても遅いのです。だから、今こそ発言を！

(piano)

大阪ではちんこ

一般質問 3月6日(水) 11時15分頃より1時間

1. 環境問題

(1) 上原市長のゴミ問題に対する施策の方向性について問う

①現状について

②2003年度から家庭ゴミを有料化する事について

2. 福祉問題

(1) 2003年度から始まる支援支給制度に備えて、国立市における障害者福祉計画等の進捗状況について問う

3. 教育問題

(1) 国立市の教育に対する姿勢を石井教育長に問う

①都教委に対する姿勢について

②校長会に対する姿勢について

③市民・保護者に対する姿勢について

(2) スクールセクシャルハラスメントに対する要綱、相談、解決等の条件整備について

(3) 道徳公開講座について

ご存知ですか?

都立多摩社会教育会館内、市民活動サービスコーナーが廃止になります。

立川にある同コーナーは27年間広域的または個人の市民活動の相談サポートを行なってきました。この間のNPO等の資料は日本一であり、大変貴重な財産です。

石原都知事は直接的サービスは市町村の役割という事でバツサリ廃止を決定しました。

利用者で「NPOの時代に広域的活動を支援する責務は都にある。」「多摩に都立NPOサポートセンターを求める」趣旨の陳情を都議会へ提出。2月19日の文教委員会にて審議の結果不採択になりました。

この件では国立市の市長、生涯学習課長が発言し又は多摩地域の会派を超えた都議、市議の方々が支援して下さいましたが、結果はダメで、三多摩格差、差別を痛感しました。

また4人の社会教育指導員は、市民サイドでとてもいい仕事をしてくれていました。それが一方的に解雇されます。非常勤職員の使い捨ては断固許すことができない問題です。解雇撤回の闘いを支援していきます。

(仮称) 国立市行財政健全化プラン(案) (最終まとめ)

全員協議会(2/1)で質問しました。

国立市の方針として

① 保育園の民間委託、委託化

学童保育の民間委託、委託化(しかも午後のみ) } 2002年度 検討

<私の考え> 現在4つの公立保育園があり、年齢に応じて正職員を配置している。また7つある学童保育所も1名の正職員を置き、児童福祉の立場で保育行政の責任を市が原則的に負っている。これを根底から覆そうというのが今回の案である。子どもの保育は細切れでは危ない。継続して責任ある正職員の存在は不可決。しかもできれば複数ほしい。子どもは大事にしてほしい。決定前に、保護者・職員の意見を聞く場を設け、再検討すべきと強く意見しました。

② 家庭ゴミの有料化、2003年度より実施!

<私の考え> まだ拙速である。その前に、やる事があるはず。リサイクル推進事業者指導など。撤回すべきと思う。

③ 国保の徴収アップ

<私の考え> 国保の被保険者は高齢者等、社会的弱者が多数を占めているという原則的な認識が市にはあるのだろうか。年々滞納が増えている事に対して、市は徴収率をアップしていく事だけしているが、介護保険料も払っている今生活も厳しくなり、一人均等割り19800円は高すぎる。なぜ払えない人が出てきているのか、市長は実態を把握して国保税の見直しをする事が先決だろう。